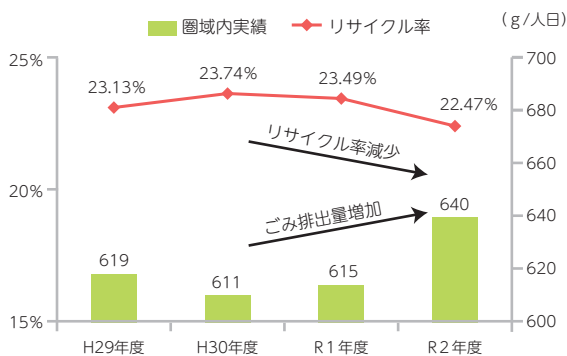


家庭系ごみの排出量が増加し、リサイクル率が低下しています ごみの減量化と分別強化にご協力をお願いします

令和2年度における仙南圏域の1人1日あたりの家庭系ごみ（もやせるごみ＋もやせないごみ）の排出量は640グラムとなりました。これは令和元年度と比べ25グラム（4%）の増となり、過去3か年度と比較し、排出量が大幅な増となっております。一方、リサイクル率は平成30年度から2か年度続けて減少となつていきます。家庭系ごみの更なる減量とリサイクル率向上のため、3Rを実践しましょう。

圏域住民1人が1日あたりに出す家庭系ごみの量とリサイクル率



▲持込ごみの増加で、廃棄物搬入口まで大渋滞が発生している仙南クリーンセンター

家庭でできるごみの減量方法

生ごみの水切り

生ごみの大半が水分です。水を切ってから排出しましょう。



紙類の分別

もやせるごみの約50%が紙類です。分別して資源回収に出しましょう。



食品の使い切り

生ごみの約20%が食品ロスです。使い切れる量を購入しましょう。



はじめよう!! リユース・リサイクル

在宅時間の多い今、部屋の片付けをする方が増えていますが、「ごみ」として捨てる前に、環境に優しい取り組みに参加してみませんか？

在宅時間の増加で、全国的にフリーマーケットアプリケーション（以下「フリマアプリ」という。）やリサイクルショップの利用者が増加しています。フリマアプリは、匿名で発送・受取ができるので個人情報が気になる方でも、気軽に利用できます。



また、仙南圏域には、不要になったものを引き取るリサイクルショップがあり、中には出張査定を行うお店もあります。

リサイクルショップやフリマアプリ等を活用し、「欲しい人に使ってもらおう」というリユース、リサイクルを実践してみましょう。

リユースを行い、SDGsの取り組みに参加してみませんか。



▲ごみとして搬入されたリユース可能な自転車

つくる責任 つかう責任

SDGs (エス・ディー・ジーズ) 目標への取り組みに参加しませんか



SDGs (持続可能な開発目標) とは、私たちが直面するグローバルな諸問題の解決を目指す17の目標です。

目標12では、2030年までに廃棄物を大幅に削減することを目標としています。